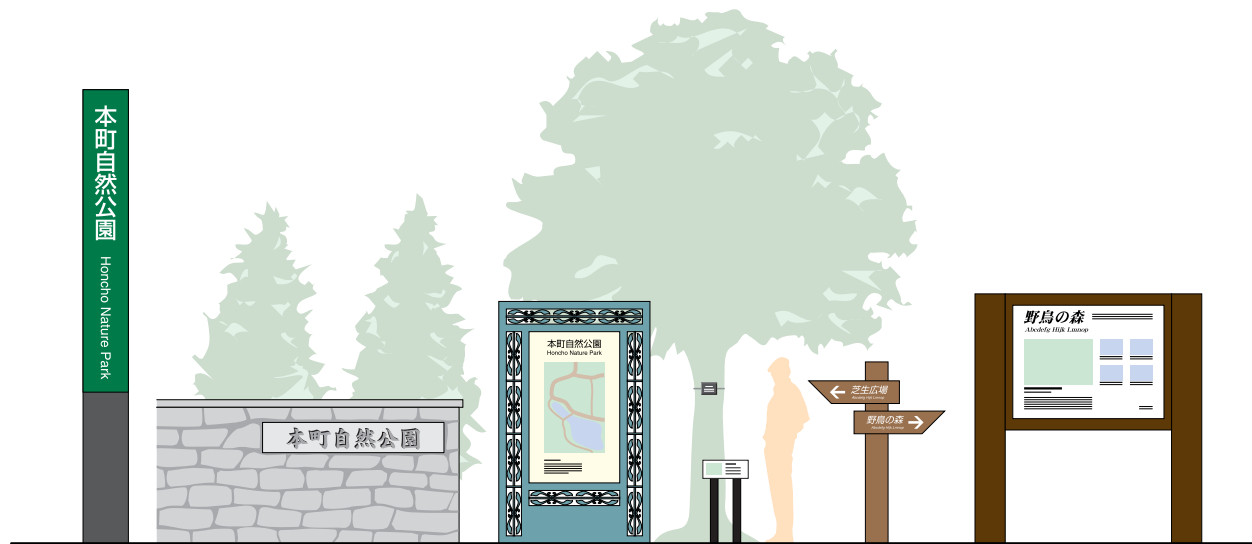
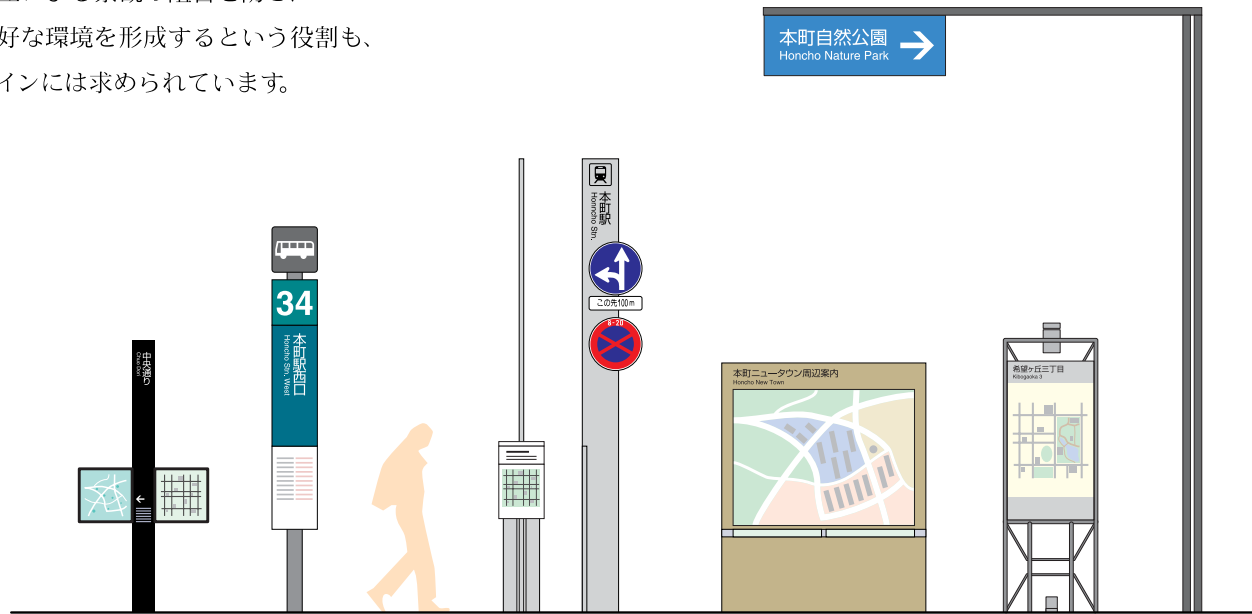


整備の手順

「サイン」は目印、表示、標識などを意味しており、人が行動するために必要なさまざまな情報を伝えるものです。

街をわかりやすく案内し、街や文化に対する理解を深め、すべての人が自在に活動できるようなまちづくりのために、サインは大きな役割を担っています。

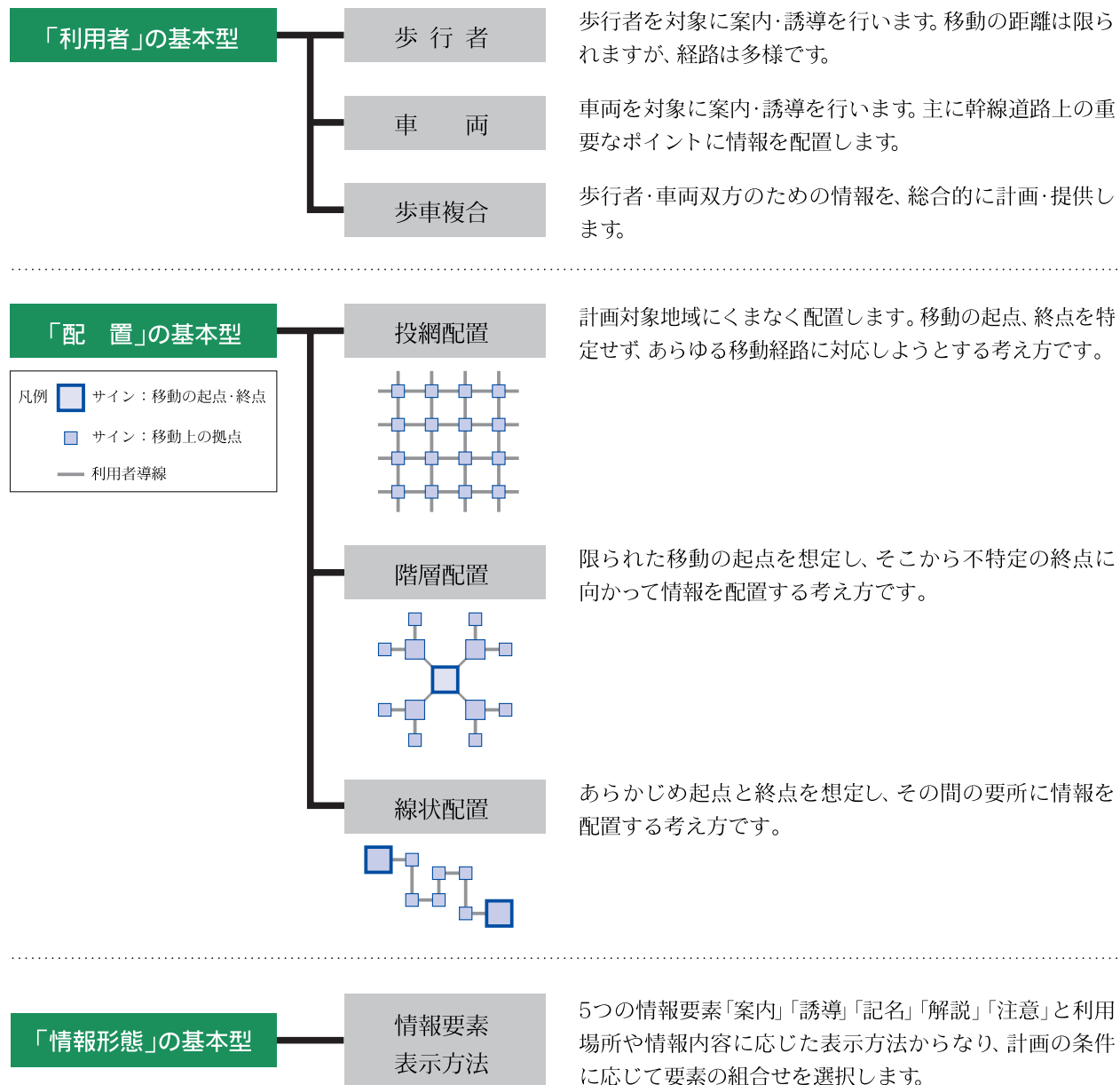
また、提供すべき情報が増えていく状況の中で、乱立による景観の阻害を防ぎ、良好な環境を形成するという役割も、サインには求められています。



3つの基本型システム

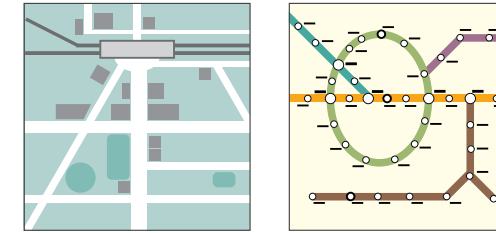
設置する場所の都市構造や地域の特性、整備の目的や事業の規模などにより、サインのあり方はさまざまです。一元的にシステムを決めることは難しく、いくつかの側面からとらえる必要があります。

- 1 誰 に……………『利用者』の基本型
- 2 どこ に……………『配置』の基本型
- 3 どのように……………『情報形態』の基本型



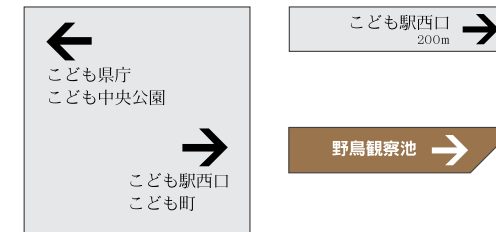
役割と情報要素

サインの情報要素は「案内」「誘導」「記名」「解説」「注意」の5つに大別できます。これらの情報要素を設置場所の状況に応じて、単独で、あるいは組み合わせて配置していきます。



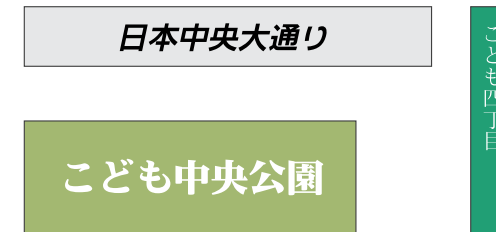
案内サイン (P.78~81)

特定の範囲内の全体像を伝えます。地図やダイアグラムなどの表現によって、利用者が知りたい領域と現在地の関係を把握できます。多量で詳細な情報を提供できます。なお、案内サインは「指示サイン」、「同定サイン」及び「図解サイン」に分けられ、目的に応じて使い分けます。



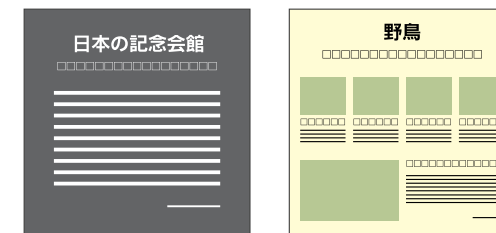
誘導サイン (P.82~84)

目的となる主要な地域・施設への方向、距離などを示します。通常は矢印と地名、施設名の組み合わせで表現します。視認性は高いですが、表示情報の量は限られます。



園名・記名サイン (P.85~88)

道路名称や住所、特定の地点や施設の名称を示します。他との識別や現在地の確認などを行うための最も基本的な情報です。他の情報要素と組み合わせて設置することも多くなります。



解説サイン (P.89~92)

事物の説明を行います。自然や観光施設の解説など学習のためのものや、施設の利用説明などがあります。



注意サイン (P.94~95)

禁止や利用注意など、行動規制に関する情報を示します。立入禁止や禁煙などの表示に代表されます。

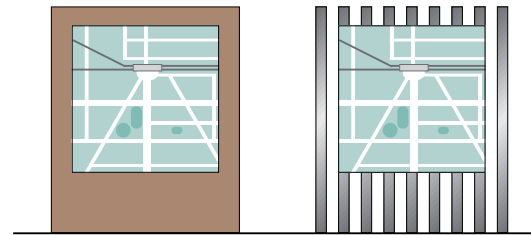
表示デザインのポイント

サインの表示は、わかりやすく効果的に情報を表現することが第一の条件です。文字や図形情報の序列、情報相互の関連性などを的確に組み立て、整理することが重要です。

一貫性をもたせる

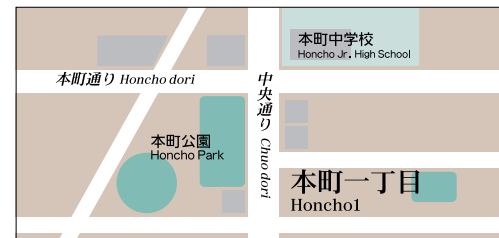
情報内容の共通性に応じて表示デザインを共通化させます。複数のサインが連携することで情報の伝達効果が高まります。

本体デザインが異なっても、共通の表示方法を用いることで一貫性が保たれます。また、共通の書体や色彩などを用いることで、情報に連続性をもたせることができます。



情報相互の関係を整理する

情報の種類が異なる場合、その区別を書体や色彩で差別化すると効果的に整理できます。また、情報の重要度の差を強弱をつけて表現することで、情報の関係がわかりやすくなります。重要な情報を大きく表示したり、見やすい位置に表示する、ピクトグラムやアイキャッチャー・マーク(■/●)を使う、他の情報と色を変えるなどの方法があります。また、案内サインでは主要施設等をインデックス化し、記号で地図との対照関係を明示するなどの工夫をすると、特定の情報を見つけやすくなります。



色彩

注意に関するものは黄色、鉄道は路線ごとに色分けするなど、色彩の「記号的な使用」により文字を補助したり、情報の差別化に役立ちます。

特に案内サインの場合は、景観に配慮しつつ、表示面の色彩を地域で統一する等、観光情報としての識別性を高めることが望ましいとされます。また、図と地のコントラストを強くするなど視認性を高めるとともに、高齢者や弱視者、色覚障害者に配慮して、「青と黒」、「黄と白」及び「赤と緑」等の見づらい色の組み合わせは用いないことが大切です。



文字

サインにおける文字は、地名・施設名などの名称表示と、解説文・注意書きなどの文章表示の二通りに大別されます。書体の選択や文字の大きさ、レイアウトについては、十分な検討が必要となりますが、「可読性が良い」「情報内容や設置場所の特性にふさわしい」などの条件が挙げられます。

表示方法は案内標識においてユニバーサルデザインの観点から日本語、英語及びピクトグラムの3種類による表示を基本とし、必要に応じて、多言語表示や音声案内等の活用を検討します。

文字の可読性は、書体や表現方法、周辺環境などさまざまな条件に左右されますが、第一に文字の大きさが深く関係しています。判読に必要な大きさは、利用者の視認距離と移動速度によって決まり、極端に小さすぎるものや大きすぎるものは適当ではありません。視認距離と移動速度による文字の大きさの目安は右表のようになります。

案内サインにおいては、英文字の大きさは、文字の高さが和文字の3/4程度が標準的です。

ゴシック系の書体

サインの文字
ABCDEFGHIJK abcdefghijk

明朝系の書体

サインの文字
ABCDEFGHIJK abcdefghij

●文字の大きさの目安

情報の種類	移動速度	視認距離	文字高(和文)
車両用	高速	65~100m	200~300mm
歩車共用	中速	30~50m	100~150mm
歩行者用	低速~停止	1~7m	5~20mm以上

ピクトグラムの標準化

ピクトグラムは、国際的に通用する情報伝達手段として多用されています。交通エコロジー・モビリティ財団発行の「標準案内用図ガイドライン」などによる標準化がすすめられています。

目的地点が明確な場合の例

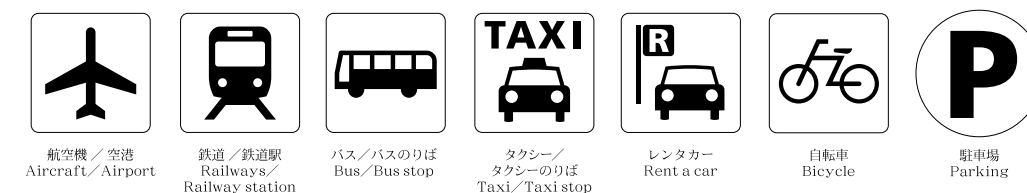
以下のピクトグラムは、誰でも自由に使用することができます。

(注1) 火災予防条例で規定されている場所に使用
(注2) 通貨記号差し替え可
(注3) 文字による補助表示が必要

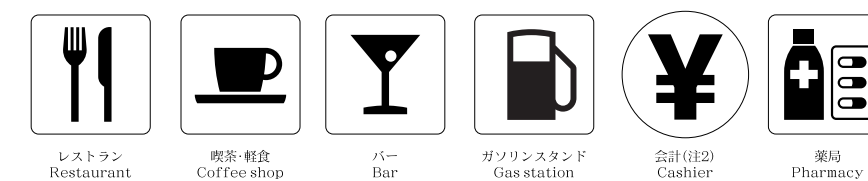
●公共・一般施設 Public Facilities



●交通施設 Transport Facilities



●商業施設 Commercial Facilities



●観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sport Facilities



●安全 Safety



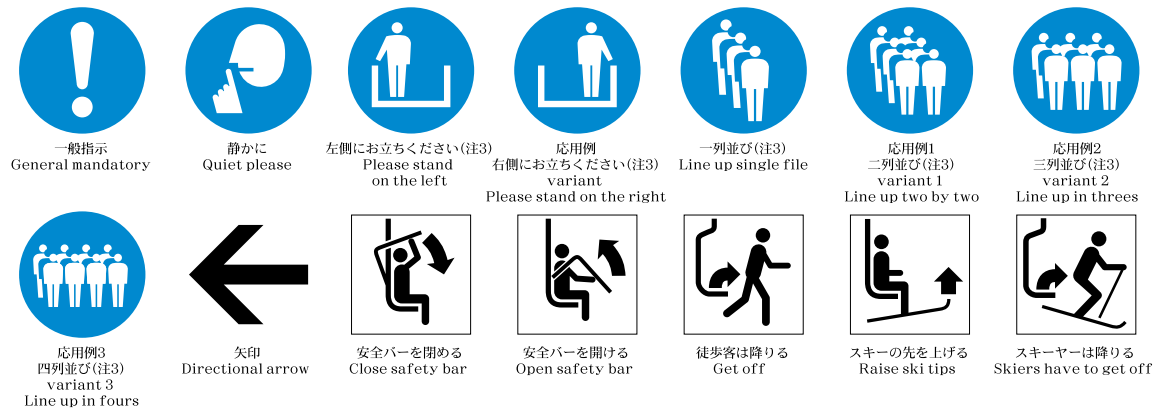
●禁止 Prohibition



●注意 Warning



●指示 Mandatory



遊具の安全利用表示標準ピクトシール(遊び場安全サインは46ページ参照)

(社)日本公園施設業協会の委託を受けアボック社が製造と取扱いを行っています。遊具安全利用表示の公式ページ(<http://www.aboc.co.jp/jpfa/yugu.html>)をご覧ください。

(社)日本公園施設業協会は国の指導に基づき遊具の安全に関する規程JPFA-S:2002(案)を策定。その中で遊具を安全に利用するために標準化したピクトグラムを作成、添付することを決定。下記のピクトグラムは国際的に監修された標識と英文を併記した標語からなる。2004年4月から、遊具と健康施設全てに施行されることになった。

●年齢表示(全3タイプ・各3サイズ)



●一般注意(全20タイプ・各1サイズ)



●遊具種類別／個別注意(14種類の遊具に対応)



予算・サイズ・素材

■予算の目安を決める

必要費用	内 訳	予算の目安① ネイチャーサイン WB-1419 スーパーカラーの場合	予算の目安② モニュメント の場合
(1) 不要な標識の撤去費 (2) 用地費 (3) 調査費	敷地の所有者に対する借用手続き費用 諸調査における費用(現地調査費他)	-	-
(4) *基本設計・実施設計 配置計画・企画立案費	デザインの検討・標識の位置選定や配置計画・ 解説標識など体系的な整備計画の費用	5~15%	10~15%
(5) *制作費	a. 表示面①内容制作費②印刷費 (地図、イラスト、写真、編集、文案、デザイン等)	40~50% 地図入案内サイン、 野鳥解説サインなどの場合	60%~70%
	b. 本体 ③材料費④加工費	15~25%	
(6) *運搬・施工費	①据付手間代(設置場所までの)②据付工事費(根切 り、コンクリート、埋戻し)③諸経費(一般・現場管理など)	20~40%	20~30%
(7) 設置のための法的手続き費	法令規制場所や、民有地の場合、許認可申請の 諸費用	-	-

*実施(制作・施工)予算を100%とした時の主な諸経費配分の目安です。*工事の規模・形態により、その割合は異なります。
*見積依頼時に必要な資料は①本体設計図と仕様②表示板面見取り図と仕様③積算に必要な一般事項及び数量表等です。

■表示板サイズを決める

表示板標準サイズ	表示方法							
	ハイブリッド カラー	ファインカラー	スーパーカラー (R,CTS-G)	スーパーカラー 'S'	アボレーザー*	シルク スクリーン	陶 板	陶 板
300×210	○	○	○	○	◎	○	○	○
400×300	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
600×400	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
750×500	◎	◎	◎	○	×	◎	◎	◎
900×600	◎	◎	◎	○	×	◎	◎	◎
1100×800	◎	◎	◎	○	×	○	◎	◎
1200×900	◎	◎	◎	○	×	○	◎	◎
1500×1000	×	◎	◎	○	×	○	◎	◎
最大サイズ	900×1200	1200×2400	1000×2000	1000×2000	750×430	-	-	-

効率良く作るには、◎(常備サイズ)よりお選びください。上記以外のサイズ・表示方法はお問い合わせください。

■本体素材を選ぶ

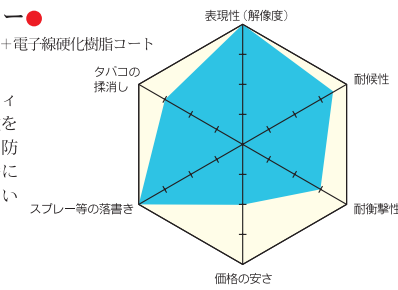
本体	素 材	耐候性	運搬性	組立性	据付性
木材	リサイクル材(合成木材、再生Petなど)	◎	○	◎	○
	外産材(米杉材、レッドウッド材、イペ材など)	△	○	○	○
	国産材(杉材、桧材など)	△	○	○	○
	集成材、合板、MDFなど	○	○	○	○
石材	コンクリート二次製品(人造石など)	◎	△	◎	△
	自然石	◎	△	◎	△
鋼材	ステンレス	◎	○	◎	○
	アルミ、鋳物	◎	◎	◎	○
	耐候性鋼	◎	○	◎	○
	スチール	○	○	◎	○
樹脂材	耐候性樹脂	◎	◎	◎	◎
	再生プラスチック	◎	◎	○	○
複合材	木材+鋼材、石材+ガラス材など	◎	○	△	△

一般的な表示技法と特性比較

(●はアボック社サイン空間研究所の推奨品)

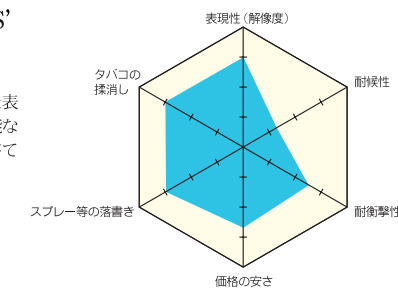
ハイブリッドカラー●

表層素材:特殊コート金属板+電子線硬化樹脂コート
耐久年数:10~12年以上
電子線硬化樹脂コーティングにより、高い耐久性を実現しました。いたずら防止にも効果を発揮し、特に落書きはインクをはじいて寄せ付けません。



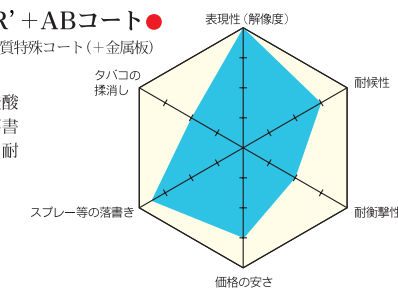
ファインカラー'S'

表層素材:特殊コート金属板
耐久年数:3~5年以上
金属板の質感を活かした表現が可能。曲げ加工が可能なタイプもあり、状況に応じて選択します。



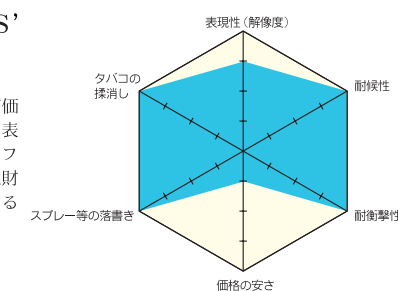
スーパーカラー'R'+ABコート●

表層素材:樹脂シート+珪酸質特殊コート(+金属板)
耐久年数:10年以上
スーパーカラー'R'に珪酸質特殊コートを施し、落書き、タバコの採消しへの耐性を向上させました。



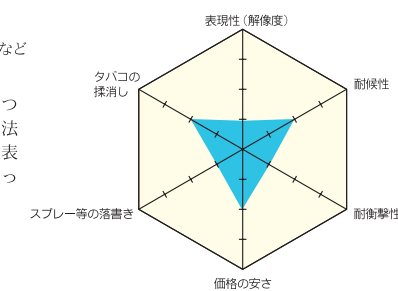
スーパーカラー'S'

表層素材:ステンレス430板
耐久年数:半永久的
いわゆるホーロー板。高価だがあらゆる点で他の表示方法を上回る高いパフォーマンスを誇る。文化財など耐久性が求められる表示に向く。



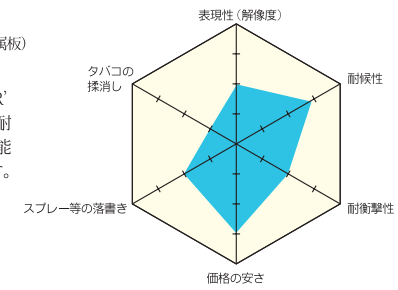
シルクスクリーン

表層素材:金属、樹脂、ガラスなど
耐久年数:3~5年
シルク版を使って1色ずつ印刷する昔ながらの手法です。メリハリの効いた表現が可能で、同じ版を使った大量印刷に向きます。



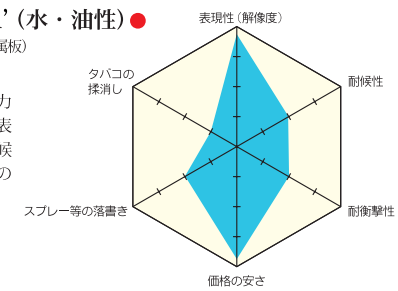
ファインカラー

表層素材:樹脂シート(+金属板)
耐久年数:5~7年以上
表現力はスーパーカラー'R'に劣るものの、価格の割に耐候性が高く、大判出力も可能のため大看板に向きます。



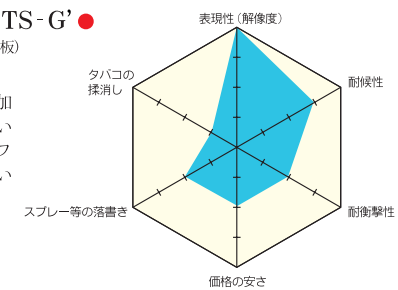
スーパーカラー'R'(水・油性)●

表層素材:樹脂シート(+金属板)
耐久年数:5~7年以上
低価格でありながら表現力が高く、気軽にフルカラー表現が導入できます。高い耐候性と明確なコントラストのある色調が魅力です。



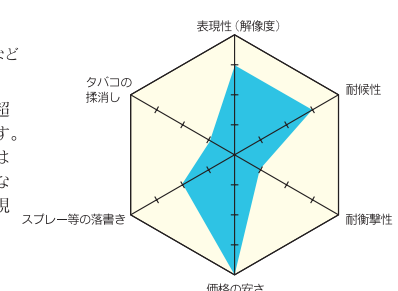
スーパーカラー'CTS-G'●

表層素材:樹脂シート(+金属板)
耐久年数:5~7年以上
最高レベルの解像度に加え、多層コートによる高い耐候性が魅力です。化粧フレームを標準装備しています。



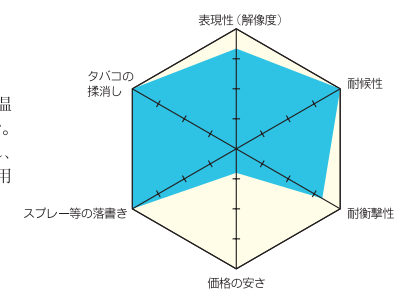
アボレーザー*●

表層素材:樹脂板、木材、ゴムなど
耐久年数:10~12年
アボック社独自仕様の超細密レーザー加工技法です。素材感を活かし、彫刻では従来不可能だった細かな絵柄や小さな文字も表現可能です。



陶板

表層素材:セラミックなど
耐久年数:半永久的
素材自体のもつ質感が温かみのある高級感を生む。耐候性、耐薬品性に優れ、主に美術陶板として使用される。



地図の表現を決めるには

広域、公園全体・部分、施設周辺などの案内図において、さまざまな地図表現が可能です。下記地図ランクを参考のうえ、ご相談ください。

A ランク
必要事項に加え、案内する地域の詳細情報や臨場感を演出する表現です。
●大規模公園や広範囲に及ぶ登山道、林道、路地を含む市街地図を、イラストマップなどで表現します。
●広範囲な地形図トレースを行います。 ●作業量に応じた費用が必要です。また製作期間は30日間程度です。



●名所、旧跡めぐり例



●駅からの散策ルート例



●緑道散策案内図例



●神社、寺社散策案内図例

C ランク
必要項目以外は省略した、ごく簡単な地図表現です。
●基本的には園路を単純な線で表現し、現在地から目的地までを簡略に表現します。
●地形図トレースは行いません。 ●製作期間は10日間程度です。



●現在地、周辺案内図例



●海浜公園周辺案内図例

B ランク
必要事項を盛り込み、かつすっきりと表現する案内地図です。
●案内地図で表現するのが適当な、スケール、方位、トイレ、駐車場などを記載します。
●該当区域の地形図トレースを行います。 ●製作期間は20日間程度です。



●公園総合案内図例



●公園内観察ルート例

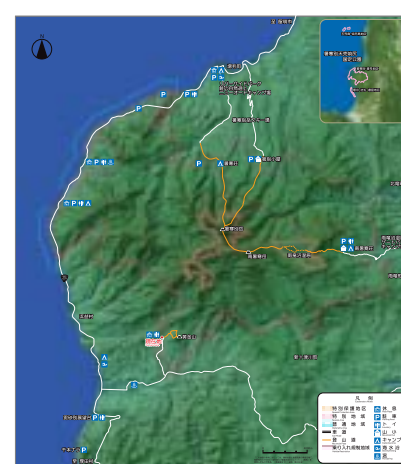


●庭園総合案内図例

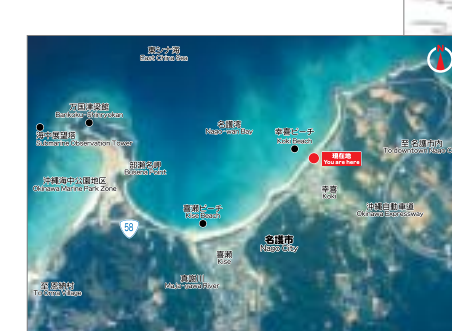


●団地区画案内図例

他 ランク
航空写真からの鳥瞰的な表現、等高線情報の記載。
●数値地図データからの地図作成を行います。
●イラスト地図(手書き)の表現も可能です。



●数値地図使用例



●航空写真使用例



●イラストマップ使用例

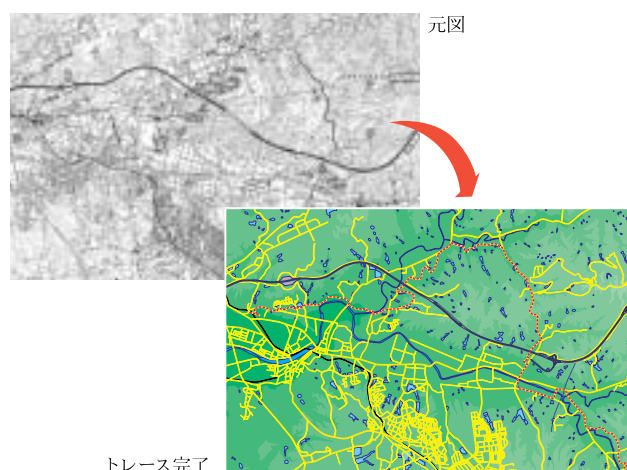
ご依頼にあたっての『注意点とお願い』

サイン計画を進める上で、別途費用や法的問題等が発生する可能性があります。新たな計画をする際には、以下の事柄をご確認ください。

支給原稿・校正について

■ 地図

案内図を作成する時は、元になる地図の精度により、仕上がりが変わってきます。国土地理院の測量図面や植栽図面、青焼き図面などをご用意ください。



■ 原稿

校正・監修のすんだ完全データでいただくと納期が短縮できます。校正は専門スタッフがいますが、入稿前の最終的なご確認をお願いします。

■ 写真

書籍やパンフレットなどの写真の無断転用は著作権侵害となります。使用許可がとれているかご確認下さい。また写真は大きく拡大し使用があるので、ピント・露出のあった鮮明なポジフィルムや写真・データで支給してください。



デジタルデータの入稿

デジタルデータを支給される場合は仕上りに影響するため、各営業所の担当者にご相談ください。



■ 図版、挿絵など

イラストなどの図版について、書籍などからの無断転用は著作権侵害となりますのでご注意ください。また、ロゴマークなどを入れる場合は、必ず清刷を手配していただきますようお願いいたします。

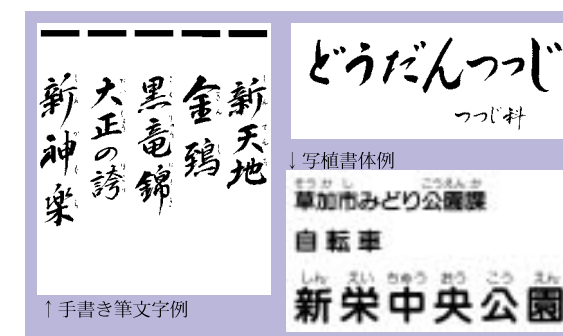


上記はお見積り時に確認いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

別途費用が必要なもの

■ 書体(フォント)・レタリング

特定の書体・写植を使用する場合、またレタリングや筆文字を描きおこす場合。



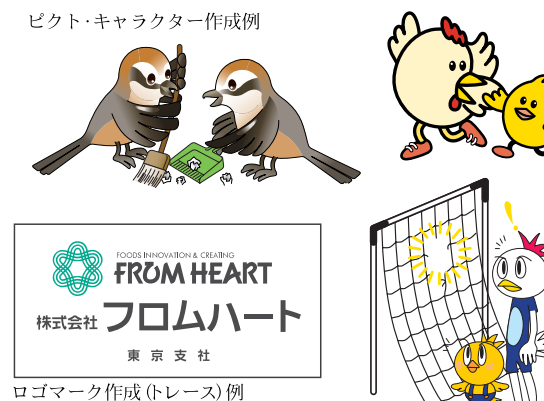
■ 作字

当用漢字にない特殊な漢字(右の例参照)を作字する場合。

作字例
柳→柳 邊→邊
尻→尻 濱→濱

■ ピクト・キャラクターなど

特注ピクト、キャラクター、ロゴマークのデザインやトレース。専門スタッフによる細密イラスト(樹形、動物、生態系図など)の作成。



■ ラフ原稿

見積り時にラフ原稿作成費用は含まれていますが、何度も大きく変更となる場合や最終段階での大幅な変更は、別途費用が生じる可能性があります。また、ラフ原稿と仕上りの色見は、印刷媒体の違いにより若干異なります。

ラフ原稿と製品例

